

東青地域ナマコ種苗生産体制構築事業 (R3~R5)

現状分析と課題

現状分析

- ◆ナマコは、陸奥湾でホタテガイに次ぐ重要水産物
- ◆ナマコの国内取引価格は、中国情勢に影響されることがなく、高値で安定
- ◆近年、ナマコの生産量減少が顕著
- ◆県は漁場を造成・整備し、生産者は資源回復策を実施
- ◆生産者は「ナマコ種苗生産マニュアル」等により種苗の生産に取り組んできたが、放流数が不安定

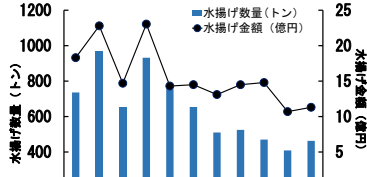


図 ナマコの水揚げ数量と金額

課題

- ◆現場では、放流前の種苗を安定的に生産・確保することが困難
- ◆放流数の安定のため、生産現場環境に応じた「ナマコ種苗の生産体制づくり」が急務

事業の内容 (アウトプット)

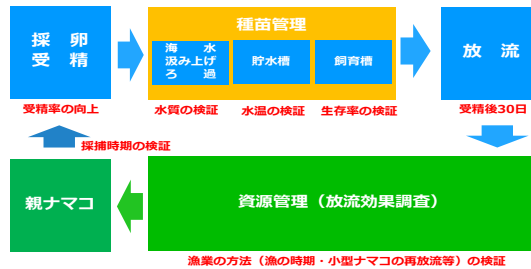
【概要】

ナマコ種苗の生産体制を確立し、生産現場への普及を円滑に進め、種苗放流数の増大を図る。

<地方創生推進交付金活用事業>

取組1 種苗の生産体制の確立 3,965千円

- (1) 実施海域
海洋環境の相違する津軽海峡と陸奥湾に区分し、それぞれの漁協へ種苗生産の検証を委託 (津軽海峡：今別、三厩、陸奥湾：平内、野辺地)
- (2) 実施内容
漁協の施設内に機器を配置し種苗生産の課題 (水温・水質など) を検証



- 重点枠事業による取組み
- 生産者による取組み

取組2 種苗生産技術の習得と普及 35千円

- (1) 種苗生産技術の習得研修
- (2) 生産者間の交流会開催 (資源保全意識の向上)
- (3) 種苗生産関係者による生産技術課題の整理と検証
- (4) 生産現場に合わせたナマコ種苗生産の手引きの作成と普及 (R5実施予定)



事業の目指す姿

事業のアウトカム

ホタテガイとナマコによる陸奥湾の漁業振興

- ◆ホタテガイ生産者のナマコによる収入増
- ◆生産現場に合わせたナマコ種苗生産の確立
- ◆種苗生産技術を習得した漁業者の育成
- ◆ナマコの資源回復と漁場(養殖場下)活用による増産増収

最終アウトカム

- ◆漁協を主体とした体制への移行
- ◆成果を含め漁協に対して普及を継続

【関連KPI等】

- ◆管内ナマコ種苗生産箇所増加 R8 R3年比150%増 (約+3カ所)
- ◆管内ナマコの水揚げ金額増加 R8 R3年比150%増 (約+5億円)

東青地域ナマコ種苗生産体制構築事業費（継続）

現
状

生活史



水揚・出荷

漁獲サイズ200g以上

底見

ホタテガイ漁業者 979人
ナマコ漁業者 788人

ナマコ水揚は減少

年度	数量 (kg)	金額 (円)
H23	971t	22.8億円
R2	463t	11.3億円

加工・輸出

輸入代理人

兵庫県
北海道
大阪府

中国
【主に香港】

乾製品

漁業者、漁協、産地加工業者

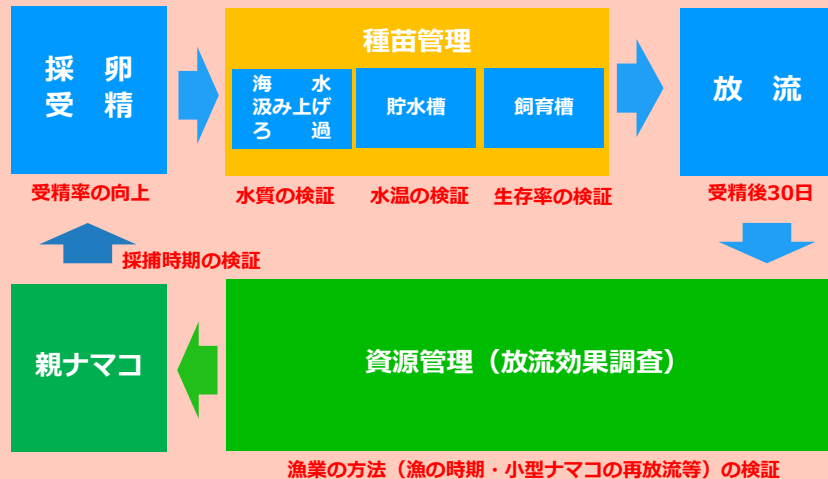
塩蔵品

福岡県
山口県

産地加工業者

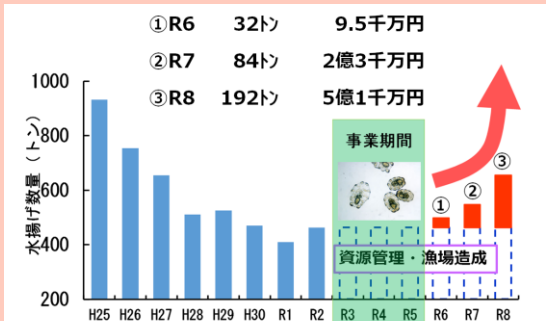
全国の輸出 950ト 248億円

生産体制の確立・生産技術の習得と普及



事業効果

ホタテガイとナマコによる
陸奥湾の漁業振興



事
業
概
要